11月16日 水曜日 15日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス THE NAIGAI TIMES
第3280号

天気予報
今晩 東のち南よりの風曇り。
明日 南よりの風強く晴、日…

党新首脳を選任

幹事長 岸、総務会長 石井、政調会長 水田氏

自由民主党の結成大会は十五日午後一時すぎから東京神田の中央大学講堂で開かれた。この日は鳩山、緒方両氏始め閣僚、旧民自両党役員、衆参両院議員および前、元議員、地方支部代表者など数百名が出席、大会はまず楢橋渡氏の開会の辞によって幕が開かれた。ついで仮議長に最年長者石坂豊一氏が選出され議長席につき、資格審査委員長石原幹市郎、小島徹三両氏の報告あって大会は成立した。

大会成立宣言を終って役員選出に移り、議長団に議長植原悦二郎氏、副議長に大村清一、真鍋儀十、三浦義男、小林絹治、堀川恭平、川村松助の諸氏が指名され、まず植原氏が議長席につき鳩山、緒方旧両党総裁がそれぞれあいさつを述べ、ついで大野準備会長の経過報告があって議事に入った。

議事は最初に党名を自由民主党とすることを決め、党規党則、綱領、政策、組織の順でそれぞれ審議決定、役員選挙では代行委員に鳩山一郎、緒方竹虎、三木武吉、大野伴睦の四氏を、また幹事長岸信介、総務会長石井光次郎、政調会長水田三喜男の三氏を選任した。

党役員のうち組織委員長、党紀委員長の選任は代行委員、および執行部に一任され、この日は決定しなかった。次に代行委員を代表して三木氏、その他の役員を代表して岸氏がそれぞれあいさつを述べ、立党宣言、大会決議を行って議事を終り、山口喜久一郎氏の閉会の辞で無事大会を終了、益谷秀次氏の発声で万歳三唱して散会した。これにより衆院二百九十九名、参院百十八名の自由民主党が発足した。

『自由民主党』発足す



写真は結党大会会場(神田中央大学講堂)

党紀委員長は馬場元治氏か

自由党から出す自由民主党の党紀委員長は閣僚人事との関係から、いまのところ具体的な人選に入っていないが、林譲治、馬場元治、船田中氏らが候補に上っており、このほか加藤鐐五郎、田子一民両氏の名もあげられている。しかし総裁公選は明春四月に迫っており、自由党としては緒方総裁擁立という重大な問題をかかえているので、準備会で党規党則委員長をつとめあげた馬場元治氏を推す空気がかなり強まっているので、場合によっては馬場氏に決まることも考えられる。

吉田氏、不参加

自由党の吉田茂氏は十五日午前林譲治氏に書簡をよせ、新党に参加しない旨最終的に意思表示した。吉田前首相は十四日林氏と池田勇人氏が大磯におもむいて新党参加を要請した際は両氏に身柄を一任、新党に参加する意向を示した。

臨時国会22日召集 詔書公布さる

政府は十五日の閣議で二十二日に第二十三臨時国会を召集、手続きの上同日付官報号外で召集詔書を公布した。なお衆[illegible]

詔書 日本国憲法第七条および国会法第一条によって昭和三十年十一月二十二日に国会の臨時会を東京に召集する。

御名御璽

昭和三十年十一月十五日 内閣総理大臣 鳩山一郎

参与官復活を考慮

新党首脳 副大臣制なども検討

自由民主党は十五日結成大会を開き、保守新党として新発足したが、直ちに鳩山、緒方、三木、大野四代行委員と岸幹事長、石井総務会長ら党執行部を中心に新内閣の閣僚選考に入り、二十二日の第二十三臨時国会に臨む態勢を整えることになっている。

内閣の発足に当り党首脳間に参与官制度の復活、または副大臣制の設置など新構想が検討されている。現在の政務次官制度は国家行政組織法十七条により特別職とし、各省庁および首都建設委員会に各一名ずつ置かれている。

参与官制度は戦前勅令により設置が決められ、内閣参議制度も近衛内閣当時に勅令で定められたことがあった。戦後二人制政務次官制度の設置について検討されたが、法制上の疑義から実現をみなかった。

今回自民党で検討されている参与官制度の復活などの新措置は新党の発足にあたり人事面の不満解消策をねらったことと、従来の政務次官の官制上の地位が非常にあいまいなことと、事務次官との事務の分担が明確化されておらず、もっぱら陳情処理にあたるというようなおかしな地位にあることから、この際、大臣に準ずるような大物級を政務次官にそなえ、その下に若手級を参与官において行政事務の円滑化を図ろうというねらいのようである。

従って根本官房長官は十五日午前の閣議後の記者会見ですべて新内閣成立後の問題であるとしているが、参与官あるいは二人制政務次官よりは人材抜てきの意味から副大臣制の方が上策だとの意向を明らかにしている。しかし政府の一部には現在行政簡素化を強力に推進しているおりから、時代に逆行するものとして反対の空気もかなり有力である。また現行法上法律改正などの必要があるので実現までには相当曲折が予想されている。

結党大会決議

自由民主党結成大会は次の決議を満場可決した。

◇決議 われらは保守勢力を結集して政局安定の基礎を固め、新情勢に対応する諸政策を強力に推進するため、ここに自由民主党を結成した。われらは一切の行きがかりを克服して挙党一致本大会の決定を忠実に実践し、もって全国民の負託にこたえんことを期する。右決議する。

参院野村氏ら新党へ

参院無所属の野村吉三郎(和歌山)斎藤昇(三重)佐野広(島根)の三氏は十五日自民党結成にともない、同党に入党の手続きをとった。これで参院から新党に参加するものは百十八名となった。


写真は十四日、ワシントンで日米原子力平和利用協定に調印する井口大使㊨とシーボルト国務副次官補㊧(AP電送=共同)

財界春秋

同友会は資本主義に絶望か

三鬼陽之助

去る十日、いわゆる『財界秋の祭典』の最後を飾る経済同友会の第八回全国大会が行われた。なにせ、故大塚万丈以来財界左派―新資本主義派の温床をもって自任(?)するグループだけに、相当勝手な議論がたたかわされた。

大原倉敷レイヨン社長や、中川路大阪チタニウム社長らは『われわれ財界人は社会党を毛嫌いせず、社会党こそ近き将来の政権担当者と考え、さらに今後の経済体形は社会主義社会へ移行する前提として考えるべきだ』と思いきった意見を吐き、これまで品川白煉瓦の青木社長とともに、資本主義のチャンピオンと自他ともに許されていた桜田日清紡績社長も『経営者は血縁や出資者から選ぶべきでなく、労働組合を、正しい経営者を選ぶ母体とせねばならぬ。そうなれば、政治体制に大きな変革がもたらされても、われわれを抹殺することは出来ない』と、例の歯切れのよい口調で論じ、満座を粛とさせた。

同友会も、山下事務局長談によると、十年前の創設当初の二百数十名が、いまでは十倍の二千五百名になっている。当初は入会者の資格がかなり厳選されそれ故に、同友会の会員であることに一種の誇りがもたれたものだが、いまは猫もシャクシも簡単にはいれる。それだけ魅力はないし、したがって同友会のメンバー必ずしも、新資本主義者ばかりとはいえない。しかしこうして同友会代表として壇上にあがる連中を眺めると、なにか眼前の事実に眩惑され、追いかけるものに苦悩し焦慮しきっている印象が強い。同時に、なにか予言者―発見者という自負も感ぜられるが、全国委員長の今里日本精工社長のあいさつを皮切りに、近来にない真面目な空気がただよっていたように思われる。

この全国大会を通じて、いまさら痛感されたことは、従来の型の資本主義に、財界第一線の経営者が絶望し、もはやその存続を望まなくなったことである。

従来の型―大株主資本家、株主による会社支配を続けているような連中は、みな一様に首をたれていた。大原総一郎など、文字どおり親の七光りで社長になった男だが、社長くらし十年、精進し、反省し、進歩してようやく七光りを脱却できた。だから偉そうに広言をはきうるのだが、二代目、三代目社長道を修業中のもの、落第の極印をおされているもの、さらには二代目ボンクラ社長の不人気に乗じて明智光秀、石田三成たらんと考えているもの、気のせいかそれぞれ複雑な表情をただよわせていた。

同友会グループを中心とする財界人に、ときどき資本主義命脈論がたたかわされる。前記の桜田日清紡社長など『二十年、そんなに資本主義が持つと思うかネ』と、かつて筆者に反問したことがある。藤川東都製鋼社長も『君は僕を財界実力派だの右派だのと宣伝するが、逆だネ』と、有難迷惑な顔をしていた。どうも、早手回しに売出し未公開株を買いたがっているようである。

☆★☆★☆★

さながら武装合同

鈴木社会党委員長非難

【花巻発】鈴木社会党委員長は十五日午前、花巻温泉で記者会見を行い、『政権の移動を政党の離合集散で行うことは民主々義のルールに反する』と次のように述べた。

一、鳩山首相は私に『保守合同は社会党に政権を渡したくないということらしいが、これは民主々義に反するおかしな話だ』といったことがある。また保守合同のために日ソ交渉その他の政策を犠牲にしないと公約した。ところが政権タライ回しの順番は自分が第一位だとわかるとたちまち合同に応じた。しかも党首がなく四頭の代行制などというやりかたは政党政治を冒涜するものである。

一、今度の合同は武装合同といえる。自由党は緒方氏もいっているようにその精神を新党の中に持込むというが、吉田前首相が参加したのも同じ考えからであろう。だから来年四月の総裁公選の際、割れる可能性が十分ある。分裂に備えて党名を自由民主党としているのは用心がいい。

日米原子力協定 けさ正式調印

日米原子力協定(原子力の非軍事的利用にかんする協力のための日米両国政府間の協定)は十四日午後三時半(日本時間十五日午前五時半)ワシントンで日本側井口駐米大使、米国側ストローズ原子力委員会委員長、シーボルト国務副次官補の間で正式調印された。この結果細目協定交渉も近くワシントンで開始される予定である。

ソ連も同意か 日本の国連加盟

【ニューヨーク十四日発ロイター=共同】ニューヨークのソ連権威筋は十四日『ソ連国連代表団は日本をふくむ十八ヵ国一括加盟に賛成だ』と言明、ただし外モンゴルを除外した十七ヵ国一括加盟には反対することを明らかにした。

英も同意表明

【ニューヨーク十四日発ロイター=共同】国連の英代表団は十四日『英国は十八ヵ国の国連への新規一括加盟をそのまま認める用意がある』と発表した。

自衛隊首脳の大異動決まる

防衛庁は十二月一日に新設を予定されている西部方面総監部(熊本)第七混成団(札幌)第八混成団(熊本)および航空団(浜松)の発足に備えてその首脳人事の選考を急いでいたが、約百名に近い自衛隊発足いらいの大幅異動を決定、十五日の閣議了解を得たので十六日発令する。

このうち西部方面総監に現第四管区総監松谷誠陸将、第七混成団長に現第一特科団長助川弘道陸将補、第八混成団長に現第三管区副総監宮崎舜市陸将補、航空団司令に現空幕装備部長源田実空将補がそれぞれ就任の予定であるが、その正式発令は十二月一日の発足と同時に行われることになっている。今回の異動によって自衛隊の人事が一応固まり、旧陸海軍人が陸、海空三自衛隊とも実際上、重要な地位を握ることになった点が注目される。

なお今回の異動によって閣議了解を必要とする将補(旧軍隊の少将に相当)以上の自衛隊首脳は陸将十四、陸将補三十三、海将四、海将補十五、空将二、空将補九の合計七十七名となった。

ないがい川柳

吉田桂司選



庶民から集めて庶民には貸さず 千代田 岡本秀治
満月の光が邪魔なプロポーズ 新潟 伊藤蘇子
ハイキング土産の栗はイガのまま 荒川 松永真
家計簿に来客派手な穴をあけ 江東 宮内塔郎
接吻の写真へ母は口を拭き 葛飾 甚時朗
月ばかりはめて恋人気が弱い 北 松本いはを
サンガーが何人来ようと殖える国 目黒 望月おな女

おことわり 『東京のエトランゼ』本日休載します。

内外抄

ともかくも、初めて単一の保守政党が生れ、二大政党対立の形の成った日。祝いましょう。

◇

その名は『自由民主党』無理にふたりを添わせたよう。会うは別れの初めとかや。縁起でもない。

◇

日米原子力協定の調印。米もウランかな主義でもないらしい。お互い平和利用に協力しよう。

◇

豊田殉国青年隊長が地下から『出頭』短銃一挺のため逃げ回った男、拳銃二挺腰の元気で行け。

◇

七・五・三で相も変らぬ親馬鹿の顔が見られる。新生活運動どこ吹く風と肩で切って歩く姿。

粋人酔筆

秋の温泉場

田辺禎一



私は春の旅には海の温泉場を好み、秋の旅には山の温泉場を愛する。海の温泉場は陽気であり、山の温泉場は何となく落ちついているからである。しかし近頃の温泉場は、保養というよりも遊興が目的であるから、山の温泉場といっても、よほど不便な山奥にでも行かないと、静寂な感じを持った保養地は得られない。

終戦後は温泉地ばかりでなく、東京の真ん中でもかなりすごいところがあるから、なれっこになってしまっているが、終戦前には都会はなかなか風紀がやかましく、そこで、温泉地に行ったものだ。温泉地はお目こぼしが多かって、ものすごいところが多かった。ホテルから一歩外に出ると、暴力赤線がズラリと取巻いているという光景である。

関東平野の中央に近いK温泉場に、盲学校の職員の秋季慰労懇親会があったとき、有名な箏曲の盲の先生(名はお預りして置く)をその友人で、こちらは眼のあいている先生が宴会の後に、街を案内するといって連れ出したことがあった。

財布を持って外出すると、暴力女給(実は女給ではなく売女である)に全部まき上げられるから、ホテルの浴衣ただ一枚だけで、一切何も持って出るなと注意されていた。

ところが二人が街に出ると、たちまち暴力女給に包囲され、二人は別々の方向に引き離されてしまった。

眼あきの先生は盲人の先生を助けようと全力を尽して争ったが、一人の女がその先生の大切なところを握って放さない。痛くてたまらないので、とうとうその女に引っぱられて一軒の店に捕虜になってしまった。

盲人の先生はびっくりしてぼんやり立っていると、一人の女がその手を引いたので、それを友人だと思って喜んで手を引かれてゆくと、それは友人で[illegible]、女給だった。



一人ではどうしようもなく、酒を一合ほど飲んで帰ったら、その店の若い男が付け馬になってホテルまでついてきた。計算書を見ると、日本酒合計三升と記してある。実はそれは店の女が全部で飲んだり食ったりした全部の勘定書で、お陰でその先生は財布全部を空にしてしまい、帰りの旅費さえなくなってしまったということだ。

今から二十五年ほど前に、私は深山の紅葉で有名なK温泉(前のK温泉とは別)に行った。電車終点のF駅からバスに乗って、山奥深く入って行ったが、途中の紅葉の美しさにしばらくは茫然とするほどであった。

その頃私はまだ若かったが、同行の親友はF博士という白髪の老先生であった。やがてK温泉場に着いたが、ここは全然遊興地ではなく、芸者はいてもいずれも芸を専門にし、一切泊らない老妓ばかりが六人ほどしかいなかった。そこで酒の酌をする若い女の子はいないのかと、宿の番頭に訊いたところ、街の女の子で、希望によって酒の酌をしたり、また金次第によっては泊りもする子が十人ばかりあるという話であった。

そこで一人呼んで見たところ、十七、八歳の、ちょっと若尾文子に似たような可愛らしい女学生風の子がやって来た。酌をするほかは何の芸もない女であったが、名物である岩風呂に私ども二人で入るというと、それならば一緒に入って背中を流しましょうといって、平気で風呂に入り、背中を流してくれたのには驚いた。

翌朝私は仕事があるので、その老博士一人残してその夕刻東京に帰ってしまったが、後日、その老博士に会ったので、その夜のことを訊ねたら、博士は『あの土地は不思議な所だ。あの女の子と泊ったが、サービスの終ることに、その始末した紙片を捨てず、手さげ袋の中に入れて置き翌朝の計算の時に、その始末した紙片の数を数えて金を請求された。一塊一円という相場だ』といわれた。なるほど面白い計算の仕方だと私も感心したが、とにかく昔の山の中の温泉場は面白い所が多かった。

東京株式仲値

□新株落△当落 (15日前場終値)

				三菱鉱	50	台糖	254
				古河鉱	78	明糖	119
				同和鉱	138	甜菜糖	118
特定銘柄		日立	78	住友炭	60	野田	205
東海上	236	東芝	64	三井山	57	森永	175
郵船	58	三洋電	―	北海炭	64	明菓	175
新三菱	75	松下電	169	日鉄鉱	395	日水産	100
日清紡	256	八欧電	180	商船	44	昭和産	118
味の素	296	東洋紡	167	三井船	48	東洋醸	93
三越	276	鐘紡	128	西武	370	合同酒	152
三菱地	478	富士紡	122	藤田興	209	三楽	138
平和不	208	大日紡	85	飯野海	58	大阪糖	161
日東化	101	日東紡	70	日銀	―	三井物	162
日産化	98	片倉	30	東銀	55	第一物	151
三菱化	126	東邦レ	131	三井銀	―	白木屋	―
三井化	165	帝蚕	35	富士銀	87	高島屋	103
協和醗	143	中繊	43	日証金	70	大丸	―
東合成	150	帝人	168	安田火	94	日活	71
三共薬	171	東洋レ	217	大正海	86	松竹	210
信越化	96	三菱レ	143	住友海	80	東宝	―
東高圧	163	倉レ	141	千代田	75	大映	172
沖電工	122	旭化成	396	東電	617	王子紙	239
日本曹	102	山陽パ	148	関西電	666	十条紙	280
旭電化	89	日本パ	123	鋼管	37	本州紙	94
三菱造	95	国策パ	141	日製鋼	75	三菱紙	85
三井造	133	東北パ	132	八幡	63	北越紙	65
三菱重	66	日毛	238	富士鉄	58	日セメ	154
石川島	96	帝石	99	神戸鋼	59	磐城セ	265
浦工	141	日石	115	日特鋼	107	小野田	90
東洋ベ	128	昭和石	166	日軽金	163	富士写	152
日立造	60	東燃	158	日金工	75	小西六	108
浦賀	64	三菱石	157	日本粉	130	横浜ゴ	145
日本光	142	大協石	165	日清粉	125	旭硝子	169
キヤノ	160	三井金	110	日本ビ	171	三井不	778
理研光	56	三菱金	114	朝日ビ	185	三井倉	82
三菱電	85	日鉱	110	キリン	205	渋沢倉	―
		住友金	114	宝酒造	126	東洋埠	206

市況

新内閣待ち

金ヘン株中心に根強い買気が続いているが、全般は第三次鳩山内閣の成立待ちに見送っているので人気は引立たず市況は底固いうちにも引続き小巾もみ合の場面。特定株は人気離散して動意に乏しくほとんど低調な一、二円巾の小浮動を繰返した。雑株は造船、鉄鉱、ベアリングなど金ヘン株に前日来の買物が続いて三円内外小高くそのほかもおおむね小確のものが多かったが、一方化学、資源、製紙などの一部には小口の利食売が散見されて部分的に小甘いものがあり結局金般は活気薄の小巾まちまち商状であった。

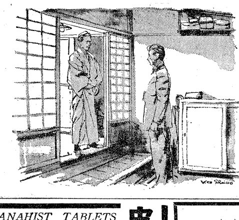
▽高い株=富士車両八円、三井不六円、中山鋼五円、日立工、カーバイト、精工、北海道電、日光学四円

▽安い株=東洋罐四十円、東洋工十三円、タービン六円、三池合五円、川崎車両四円

青春無宿

大林清 作 下高原健二 画 (189)

虹への道(六)



飲みに行こうと、しきりに誘う塩田と別れると、次郎は万宗の電話を借りてスカーレットへかけ、ちょうど電話口へ出た真弓に光代の住所を問い合せた。

アパートの部屋へも寄らずに、まっすぐ池袋へ足をむけたのは、愚連隊に先回りされるのを避けるためだった。

その番地のあたりまでは、たいして道を尋ねもせずに行き着いたが、番地が飛んでいるのと、光代が間借人であるのとで、"浮島"と姓だけ書いた名刺大の紙を、一軒の家の戸口にみつけだすまでにはかなり手間が取れた。大きな方の表札の木島という名を真弓から聞かなかったためだった。

次郎の訪いに応じて、五十年配の和服姿の男が、玄関の間へ出て来た。そこの薄暗い電灯をひねると、うさん臭そうに次郎を見まわしたものだった。

『浮島光代さんはおいでになりますか』

次郎はその相手を家主の木島という人物だと判断した。

『ああ光代さんね、たしかまだ帰っていないと思うんだが…』

相手は無愛想にいってちょっとひっこんだが、二階へ声をかけるのが聞えてから、妙に不機嫌な顔つきでもどって来た。

『帰っていませんよ』

突っ放すようにいうのだ。

光代が不在のことなど、次郎はここへ来るまで考えてもみなかった。銀座四丁目の角で光代と別れたのは、まだ陽の高い時刻だった。今はもう九時に近いのだから、あれから四、五時間は充分たっていた。

『あんたはどなたですか』

だまってしまった次郎へ、木島が探るようにきいた。

『宇田といいます』

かくす必要もないので正直に答えた。

『光代さんにどんな御用で?』

『ちょっとお目にかかってお話したいことがあったんです』

『あの人が働いていた何とかいう銀座のバーの関係じゃないんですか』

木島は次郎をバーテンかボーイとでも思ったらしい。説明するのが面倒なので、次郎が返事をせずにいると、

『もしそうならはっきりいっときますが、光代さんはもうああいう商売へは出ませんよ。縁切りですからそのつもりでお願いします』

木島のその素っ気ない言葉は、光代が大渕の世話になるのだと、赤目の西がいったことを裏書きしているようだった。

これ以上押問答していても仕方がないので、次郎は何もいわずにその玄関を出た。

光代があれから寄り道をしたことはたしかだが、電話をかけたスカーレットにも現れた様子がないとなると、どこへまわったのか次郎には見当もつかなかった。明日の朝までという限られた時間の中で光代をみつけだすためには、この家の近所で見張っているよりほかに方法はなさそうだった。

決断のつかない足どりで、もと来た方へもどっていた次郎は、その時、横合いから立ち現れた二つの人影を見た。彼等は次郎と同じ方角へあるくと見せて、左右を挟むように寄って来た。

天下御免の山中鉄火場

ニュース ストーリー

七ツ石山の秘境を探る

遙かに大菩薩峠を望みながら天下御免の山中賭博が去る七日開帳された。場所は人里離れた秩父連山七ツ石山（山梨県北都留郡丹波山村）集った屈強な数百名の男達の中には腰に蛮刀、肩に猟銃といういでたちの者もあり、声も荒っぽく「丁だ、半だ」※

※と血まなこな鉄火場風景が奥深い山にこだまし、異様な風景だった。これは同村小袖部落の秋祭に開帳される。昔から治外法権公認の"盆ゴザ"なのである。以下は部落の衆に混って実地に見聞した山中賭博風景――



小袖部落からみた七ツ石山（×印が賭博現場）

秋祭の年中行事

昔は関八州の親分衆も

中央線立川駅から青梅線に乗りかえて終点の氷川駅まで約一時間半、さらに氷川駅からバスで小河内ダムを経て約一時間、山梨県北都留郡丹波山村鴨沢部落に到着する。賭博の開帳された七ツ石山はここから急坂をよじ登ること三時間、距離にして二里半、海抜約二千米の人里離れた山の中である。

この七ツ石山は頂上近くに七ツの石が立並んでおり、その昔平将門が戦に敗れて切腹した場所との伝説があり、この山の神社の秋祭りが毎年十一月七日、山麓の小袖部落の人たちによって行われる。祭はほんの申訳で実際は天下御免の"山中賭博"が開帳されるならわしである。

丹波山村助役守岡清明氏（四）の話によれば、山また山のこの近郷では労働者の娯楽施設は何一つなく年に一度の七ツ石山神社の祭礼に開帳されるバクチで金を使うのがただ一つの楽しみ、まかり間違えば数万円の金がころがりこむという淡い希望もある。とくに老人たちはパチンコ、競馬、競輪に馴染みきれず、いつのころから始められたかわからない古いしきたりのこの山中賭博に一、二万円の運をかけるというのである。

また小袖部落の古老は『昔は関八州の親分衆もきた。いまは亡くなった清水次郎長の三代目鈴木幸太郎老人の貸元衆も見えたことがあり、その頃は二、三千人の博徒が集まって数千両の金が動き、血の雨を流したこともあってくれた。

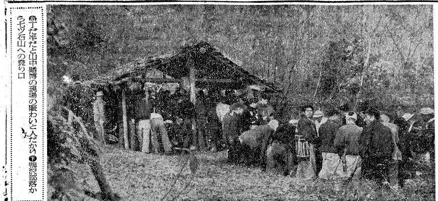
二度や三度ではない』という。戦後は取締りがやかましくなってバクチうちの身内が弱くなったせいもあり、年々来る人も少くなった。それでも昨年は戦後最高で千人以上集まり一千万円近い金が動いたと聞いている。何しろ朝五時ごろから登り始めて八時すぎに開帳、日が暮れると山を下って小袖部落の一間を借り、夜明け方までやるのが慣習だが、警察も派出所の連中が二、三人来た位では手がつけられず、上司への報告は『何事もなし』といい加減にするらしい。『これを記事にすると村の派出所巡査が困りますからね。現場で写真を撮るならよほど注意しないと横腹に風穴が開きますぜ』と話してくれた。

遙かに富士、大菩薩峠

熊や狼も出る迷い路

古老の家から七ツ石山をのぞむと、秋晴れの空に遙かかすんで白い峰がゆるやかな起伏をみせて、東から西へ流れるように続いている。その峰の中腹から白い一筋の煙が雑木の間からたちのぼって見える。めざす賭博の現場である。石灰岩を切り崩して作った細い石ころ道をあえぎあえぎ登って行くと、後から後から山中賭博に行く人たちが『こんちワー』と声をかけながら追越して登っていく。道案内をしてくれたM青年は『この山には昔から熊がずいぶん住んでいて、とくに子熊をつれている親熊に会ったときは懸命に逃げ出して下さい。鹿もいるし狼も出ます。あのようにどんどん自分だけで登って行ける人は毎年来ている人でこの複雑な山道をチャンと覚えているんです。私たちが山から木炭を下すときでさえともすれば間違うのに感心ですよ』と山の面白い伝説やけものの習性などを話してくれた。

途中靴を草履にはきかえ、枯木で杖を作り一丁登っては休みながら頂上近くまでたどりついた。『もうあと十分位です』と案内人がいう。そのころから道はますます急坂になり、すべる山道を四つばいになって登った。急に平地に出たと思うとそこがつと開けて人声が聞こえる。どうにか恐しい熊や"山の愛敬者"鹿にも出会えず賭博現場に辿りついたわけである。麓の鴨沢部落から二里半、小袖部落から二里、雑木林越しに山麓を眺めてもいきまいた方向すらわからない。文字通り山また山の中の山だ。セツ石山は海抜約七百五十米の林の間を吹き抜けて行く風は肌寒さを感じ、思わず背筋の寒さがきずいてくる。七ツ石山の頂上はそこからさらに約五十米登った所にそびえ立っている。[illegible]





七ツ石山への登り口

腰に蛮刀、見張り役

村長令息もお客さんに

賭博場は七ツ石山神社のすぐ下にある約百坪余りの広場があてられ、守岡助役や部落の古老の話の通り午前八時過ぎには既に百人以上の労働者、博徒が集まり、盆を囲み開帳をまっていた。丹波山村の老人、ダム工事現場から来たダムの建設工事現場から来た[illegible]という中年の労働者、一万円を一見して玄人の連中とわかる大半を占めている。えている。頭をめぐらすと西に富士が、その左手に大菩薩峠が雲の間に間にみえた。動かなくなった足を引きずって七ツ石山神社にお参りすると小さい社殿に娘さんがぬかずいていた。『うちの人が一万円ばかり持ってきて下でやっているので』という。うちの人とい[illegible]ったのは父親のことだったが『毎年はじめのうちは二万円も三万円も勝つのに最後にいつも負けるからお祈りするのです』とのこと。カメラがこの娘さんをパチリととらえた。

この日ばかりは大っぴらで出来るとはいえ、やはり見張り数名[illegible]

そのうちに村の商人が酒、タバコ、飯、菓子などを肩にして上ってきた。酒を飲み、腹ごしらえをしていよいよ十時ごろから開帳された。人員は予想外に少く百名余り、胴元は丹波山村土建業山本弁次郎氏（五〇）で、総員を二組に分け盆ゴザを敷き"レッキ"とした"丁""半"賭博である。壺の振り方、札の数え方はすべて見事なもの。『八王子から勘太郎一家の親分が子分をつれて来ている』と誰かがささやいていたが人ごみでどれだかわからない。こうした場所では人の名をいわないのが仁義だそうで聞くことも出来ない。

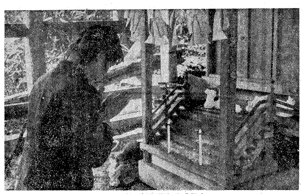
『丁』『半』と賭けると盆ゴザの上でサッと壺が振られる。そのたびに歓声と嘆声が七ツ石山にこだまする。回が進んで緊張度が増し、まる金額も千円、二千円と多[illegible]

風流世界譚

....（フィリピン）....

長いこと懸案となっていた日比賠償が近く解決して国の台所もだいぶうるおうに違いないと、近頃、寄るとさわるとこの話で持ち切りです。『賠償しなくちゃ合わないワ』『いいともさ。キミの要求するだけ払ってあげるよ』喜んだサリー、彼から誘われるままにまたホテル泊りを続ける仲となりましたが、いくら待っても金を出してくれそうもありません。業を煮やして『早く下さらないと、賠償金…』と催促しますと、ギルレア、少しも騒がず、『ちゃんと約束通り払ってるじゃないか、役務賠償ってもの[illegible]』

…り子のサリー、これを耳にして一計を案じました。一時は足繁く楽屋に通ってきて散々ホテルを連れ回っていたのに、ここ二、三ヵ月パッタリ姿を見せなくなった浮気男のギルレアを、ションをやったのよ。それ以来、からだの調子がとっても変なの。賠償して貰わなくちゃ小遣いをせびって稼ろうというのです。会社の給料して、小遣いをせびってけ時を狙って彼を訪れい方。あれからあたし、子供が出来て、こっそりオペレー[illegible]



七ツ石山神社にお詣りする乙女

モダン鳥人記

近頃河原達引

元禄三年十一月十六日の朝、京都聖護院の森で、二十二、三才位の女がいて発見された。[illegible]が発見された。[illegible]先斗町の大宮金七の抱え妓お俊というものであった。伝兵衛は父なく早くから世帯を持ち母と二人で暮していたが、このお俊になじみながらも妻として家に入れることも縁を切ることも出来ず、出す金もなく、遂に心中を計ったのだ。

この話は、享保三年『お俊伝兵衛七年忌』として京都夷屋座で上演されたが、天明五年五月、江戸肥前座で上演された『近頃河原達引』が最も有名で、今でも河原の段、堀川の段がよく上演される。だが芝居だとお俊伝兵衛は心中しない。お俊に横恋慕した亀山の勘定役人横渕官左衛門が伝兵衛を廃金使いだと悪名をつけ、お俊を奪おうとして伝兵衛に殺される。殺人罪をおかした伝兵衛は、お俊の兄猿回しの与次郎の堀川の家に行き、心中を決意するが、横渕の悪事が露見して、伝兵衛は無罪になり、お俊と夫婦になるという筋である。（鮭）

あすの運勢

＝十一月十六日＝　高島象山

▲一月生―周囲に不愉快なること起りて失望不振に至る慎重に進退

▲二月生―前日に続いて好調に進み都合よく発展するも社交は注意

▲三月生―理想の一端を実現化し次第と有利に転じ遂に栄昌に赴く

▲四月生―失業的悩みと商売不振の義あり迷わす時を待つべきなり

▲五月生―物事に落ち着いて堂々と信念に向い努力して効多く幸有

▲六月生―幸運今日より始まる積極的進展を計れ開業移転結婚よし

▲七月生―勢力過度にして事を破り易い控え目に慎重に進退し無事

▲八月生―人気もあり家業も栄進あるも目下親類の事で少し悩み有

▲九月生―商人は思惑に成功し官公吏は上位引立あり芸能人気あり

▲十月生―物事に神経を痛め易い他意なく保守し堅実なれば無事世

▲十一月生―困難辛苦を突破して後に効あり辛抱強く努力奮闘せよ

▲十二月生―何事も臨機応変の処置をとり機を逸せす活動して向上

『自由の女神の裾の下』は本日休載

東海毒婦伝

青とかげ （130）

野沢純　士端一美画

お幾の茶屋（一）

〽富士の白雪や朝日でとける。とけて流れて三島へおちる。三島女郎衆は寝てとける――唄で知られた三島の宿場町である。

昔から、事代主命（ことしろぬしのみこと）を祀った三島神社は、伊豆の一ノ宮として古来名高く、参詣は遠く頼朝公の鎌倉時代に遡る。

権現づくりの拝殿には、至るところに名匠の腕になった精巧な木彫細工がほどこされてある。宝物もあまた。

日頃参詣の客も多いが、別して毎年八月十六日の例祭と、一月七日の田植祭り、それから節分豆まきの時は、タカマチが立って、近郷界隈、諸所方々から参詣人がつめかけて大いに賑わう。

本街道からわずかにはなれた、三島神社の片ほとり――そこに葭簀（よしず）を張った、ささやかな茶店がある。

名物が甘酒。

ほかに、きび餅、焼きだんご。お社の来歴よりも、この方が霊験あらたか――とあって、東海道を上り下りの旅びとや、小荷駄馬を曳いた馬子たちが、寄っては足をやすめて行く。界隈の人呼んで『お幾屋の茶屋』。

あるじは五十を過ぎた木の葉髪。しらがまじりの初老の婆で、名をお幾――といえば思い出す。もと尾張屋にいた、おりうの乳母である。

主家が没落して以来、生れ故郷の三島へ戻り、こうして今では街道筋に、茶店を開いて静かな余生を送っているのだ。

――箱根峠の殺しの噂は、ここにもすでにつたわっていた。

山越えをして、上方へ行く旅びとたちの口からである。

しかも殺しのあった場所は、関所からそんなに遠くも離れていない、裏山道の庚申堂の中だという。

聞いてお幾は、

『まあ――』

と恐ろしそうに眉根をひそめた。

街道に茶店をひらいていれば、自然いろいろな噂が耳にも入るが、殺しの噂は、めったに聞いたことがないだけに、怖毛（おぞけ）のふるう思いである。

『そして、下手人は？　つかまりましたか？』

盆を手にしたまま、お幾が訊くと、

『つかまるどころか――誰がやったかも、かいもくわからりゃァしねえ』

すると二人が、

『だがしかし、殺されたお堂の近くに、櫛とかんざし――それから女持の財布が一つ落ちていたというぜ』

『するてえと――下手人は女だとおいいなさるのか？』

『いんや、あながちそうじゃァねえ。あっしの考えじゃァ、殺されたその男――やくざ風の男というのが、その実渡世が追剝ぎで、道中かせぎをしていた奴を、狙う男がもう一人いた――と、こう睨んでいるのさ』

『てえと、道中師のウワマエをはねた奴がいるてえわけか？』

『おそらく、まァそんなところだろうよ。そいつが慌てて逃げる時、女の持ち物を落して行った――と、あっしゃァ睨んだね』

噂の花なら、人さまざまの当て推量。

やがて西へ東へ散ってゆく。日暮れになると、茶店もしまう。

のれんをかたずけ、葭簀を立て、手桶をさげて背戸へ水を汲みに出ようとしたお幾は、ふとたそがれ闇の戸口に立っている、幽霊のような人影に、思わずギョッ！と立ちすくんだ。が次の瞬間、その口から『あっ！』という叫びがもれた。

『まあ！お嬢さま…！』



野趣満点のふるさと気分

渋谷で愉しめる『ゐなか』

すき焼の季節となったが、どうせ食うなら本格的な、野趣ある『鍋やき』を食す方がいい。田舎のおぼこ娘を相手に、雛か秋田の名酒を傾めば、これだけでも東京にいてふるさとの気分になれることは必定だ。

場所は渋谷南口駅前。野趣あるこの気分を愉しめる店の名は『ゐなか』という。女性はみんな郷土美人選り抜きの純情派。珍からず徳利を傾ける手つきや言葉に初恋の女性を想って口説いたら？落ちないかも知れないが、都会の喧騒にアキアキした人士には一服の清涼剤ともなろう。

名物料理には鹿、山羊、山鯨、牛肉があるが、このうち好きな肉を選んで鍋やきにするといい。味もよく、珍味としては話題のタネぐらいにはなる銘酒。二三〇円、ビール二〇〇円、まむし酒一〇〇円、料理一品一〇〇円からである。

ロシヤの雰囲気とウオッカの味

渋谷大映通り『ウオッカ屋』

最近のロシヤ熱は世界的なもので、米国や仏国でもウオッカのカクテルが気味なく口当りがよい、というので大流行。この要望に応えたのが渋谷の『ウオッカ屋』である。既に洋酒通に馴染深く、コックさん自慢のボルシチや各種料理はロシヤ人にまで定評があり、かつやすいので薦く。しかしあくまでもウオッカを主体とし、種類のない各種のハルピン風のカクテル80円を専門とするハルピン風の庶民的酒場である。少しも気どらずに、若くて美しいアルバイト女性と気軽に話しながらのねウオッカの味は又格別だ。黙って一人でも飲めるし、グループでガヤガヤしながらでものめるという一見矛盾する様なこの二つが可能なのだからこの店はおもしろい。又新聞人がよく集るのでも有名。これから迎える冬将軍を前に一杯のウオッカは、友人と旧交を暖めるにも、或いは彼女と二人語り合うにも愉しい酒といえるだろう。体のみか心も暖まろうというわけだ。

安心して利用出来る

豪華で安い『お茶の水ホテル』

国電お茶ノ水から二分、駿河台との中間、中央大学正門前に『お茶ノ水ホテル』というのがある。三階建のレッキとしたホテルで、暖房完備、その他の設備も優秀だ。もともと海外観光客用に立てたものだというから、これは当然だが、ビックリするのはその値段である。二人休憩五〇〇円、泊り一二〇〇円といえばチャチな温泉マークなみだ。バスも和洋両式がお好みのままだし、ベットは高級マットレス。ロビーにはテレビがあれば、バーには広いフロアもついている。たまの週末、二人で遠出気分とシャレて自動車を飛ばし、一日ゆっくり清遊するといい。帝国ホテルとまではゆかなくても、豪華な海外旅行者気分ぐらいにはしてくれる。

部屋は和洋合せてザッと三十余室あるから、先に電話で、好みのもようを伝えておけば大がいの趣味には合うだろう。清潔で衛生設備のいいことも東京一と折紙つき、毎年都か表彰を受けている。

サラリーマンの終着駅

新宿電停前バー　サントリー『寿』

人間誰しも長生きを希わない者はない。鶴は千年亀は万年というが、この店内に飾られた大海亀の様に、この店に通うと自然長生きするというから奇妙だ。

新宿電停前という一等地にありながら練瓦で積み重ねた北欧風の壁面は騒音の総てを遮断し、間接照明の柔かい光線と心地よい暖房が寒さを忘れさせてくれ、日本洋酒の横綱サントリーを大衆値段、気軽にだんのう出来るのだから人生十や二十若返り青き者は青春を謳歌出来ようというもの、誠男に生れて良かったとは『寿』に通う男性の楽しいためいきである。知的なマスター始め、バーテン氏は話題も豊富だし。又テレビもあるので学生アベックで気兼ねなく入ってスタンドに居心地よいボックスに初冬の夜長を楽しめる魅力あるバーである。

雰囲気の良さ珈琲のうまさ

日本橋室町　セ・シ・ボン

秋は珈琲のうまい季節である。気候風土が、ちょどその香りと合うのだろう。その上細かい神経を使って、豆の風味を落さぬ工夫と濃度に気を配ってあれば満点だが、もう一つ、それに加えて落ついた雰囲気と、心よく腰をおろせる柔かいボックス、静かに奏でる音楽の一曲があればそれに越したことはあるまい。珈琲をうまく飲むためにも、二人で憩い語り合うにも、また家族づれで利用してもいいのが日本橋室町三越裏通りの『セ・シ・ボン』である。

階下は甘党のために特にしつらえた和風喫茶。おしるこ、和菓子などの味もよく、階上喫茶室から流れるメロディーもそのまま聞ける装置がしてある。上、下共にテレビがあるのも豪華な設備。非常に広い店だから、少々混んでもゆっくり出来るのは何よりだ。

キャバレーより愉しい大衆酒蔵

新橋烏森『東亜』

キャバレー遊びはもう古い！何といっても、バカバカしい酒の値段は、ちっとやそっとの女性のサービスでは補いべくもないキズである。第一『東亜』のようにキャバレー気分のお色気とショーを充分愉しませて、ビール一五〇円特級酒一二〇円、指名料、チップ席料など一切なしの大衆割烹が現われたりすると、この感じはいよいよ決定的だ。

『東亜』はいわずと知れた名酒『東亜』の酒蔵。新橋の烏森口を左へ一分、ガード沿いにある。階下は大衆酒蔵として安くうまく飲ませるのんべえの店。階上は総数寄屋造りの大座敷に展開する素敵なサロンである。

ステージがあって連日ショーが上演されているのもキャバレー並みだが、ふれれば落ちる？かと思われるお色気美人のサービスも無料とくるから愉しい限りだ。

サービスタイム（七時まで）にはビール一三〇円、特級酒一一〇円季節料理50円で提供する。安く豪華な気分を味わいたい忘年会などにはうってつけの『東亜』といえよう。

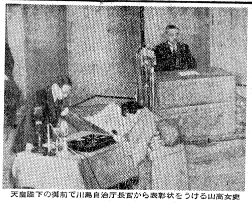
ナイト・クラブの味もある

トリスバーの代表・ローランド

トリスバーは数多いが、新宿ではなんといっても新宿三越裏の改正大通り『ローランド』に止めを刺す。以前本紙の瓦版にも『R・カクテル』で名を馳せたバーだから既にご存知の方も多かろう。R・カクテルとはつまりローランド・カクテルのことなのだが、ステキに美味で、しかも彼女と彼氏が一杯づつ飲めば、心もほのかに炎えて平行線の恋もトタンに交叉するという有難い酒だ。これが今の若き男性とミメウルワシイ女性にモテぬ害はない。オープン当時からワイワイ客が殺到して、いまでは新宿になくてはならぬバーの一つとなった。

広い店内、淡い藤色の彩光、黒と白に統一した配色の妙など、安いが売り物のトリスバーとは思えぬ程の立派さだが、二人で訪ずれれば、ステキなロマンスシートが待っている。女性は一人もいず、ゆっくり憩えるスペースに、彼女の胸が波打てばシメたものだ。ハイ50円、ストレート40円、R・カクテル50円である。




天皇陛下の御前で川島自治庁長官から表彰状をうける山高女史

陛下からお言葉
普選30周年記念式　功労者26氏の栄え

普選三十周年、婦人参政十周年を祝うため政府は十五日午前十一時から日比谷公会堂に天皇陛下をお迎えして記念式典を挙行した。式は兼子自治庁選挙部長の開会の辞に始り鳩山首相の式辞、益谷衆院議長、河井参院議長、田中最高裁長官、安井都知事の祝辞のあと、川島自治庁長官から選挙関係功労者として監綬褒章を授与された埼玉県小鹿野町選挙管理委員長新井仁治氏ら二十六人の代表全国地域婦人団体連絡協議会理事長山高しげり女史に同褒章が伝達された。次いで香川県坂出市選挙管理委員会委員長阿河範一氏ら四十八名に総理大臣表彰状が川島自治庁長官から手渡された。このあと天皇陛下からお言葉があり川島長官から閉式の辞があって同十一時半式典を終了した。

お目見得12へんげ
山崎チエ子をハダカにする


【写真は山崎チエ子】

"信用とり"の天才
主人を三日で手なずけるスゴ腕
男を渡る旅ガラス　数奇な窃盗行脚

『わたしは男から男へ渡り歩く"旅ガラス"さ』と留置場でうそぶく女——住所不定無職山崎チエ子(34)は十二の顔を持つお目見得泥棒だった。さる十二日朝大井署に窃盗容疑で検挙され=既報=その後の調べでこの三年間に旅館、商店などを専門に二十数件約二百万円の盗みを働いていることが判ったが、調べの進むに従って山崎が異常なまでに元勤め先から信用されていることがわかり係官を啞然とさせている。そしてこれが典型的なお目見得泥棒だと感心?しているが、十二の顔をもつお目見得泥棒とはどんな女だろうか——

○…山崎は主家の信用を得ることは実に上手だった。それはお目見得泥棒にとって絶対必要なことなのだが、彼女はそのためには朝早くから夜おそくまで休む間もなく馬車馬のように働らく努力を惜しまなかった。『陰日向なく働く女中』と思い込ませれば仕事は簡単だった。例えば去る九月十日品川区二葉町一の四四二下駄屋三堀敏雄さん(35)方ではわずか三日間働いただけですっかり三堀さんを信用させ、とたんに現金六千円を失敬して姿を消してしまった。そんな時の彼女は無駄口一つきかぬ生真面目な女にみえたという。

また、彼女の別な顔の一つにこどもから愛されるという慈母のような半面もあった。自分にこどもがない彼女はこどもの世話が好きだった。これが主人の気に入られることも彼女は知っていた。去る九月ごろ子守女中として働いていた品川区五反田一の二五一富士旅館ではこどもから『おばちゃんおばちゃん』となつかれ、もちろん主人からも可愛がられていたが、彼女は家人のすきをみてタンスから現金五万円を盗んで逐電した。何も知らない子供は彼女の後を追ってダダをこね家人を手古ずらしたという。

○…このように勤め先により態度をかえる山崎はその都度偽名を使いわけていた。文才のある彼女は数年前に和歌をよく作ったがその時歌に用いた名が"狩野法子"最初の結婚の相手の姓をとって"大野法子"、"大野チエ"と名乗り、後に同棲した男からヒントを得て"飯田チエ""飯田幸子"といった。さらにでまかせ、でたらめに思いついた"中島広子""山田雪子"などと名乗っていた。彼女はこれらを巧みに使い分け、旅館や商店に女中として住み込んでは犯行を重ねていたが、その間自分の本当の姓名は一度も使わず、いつ何日会った人にはどんな名前を使ったかということを必ず手帳に控えていたほどだった。

○…だが彼女も七年前迄はまともな結婚生活を送っていた平凡な一人の女だった。千葉県市原郡南総村字上原三七に竹屋の娘として生れた彼女は村の尋常小学校を卒えると昭和八年両親と共に東京月島に移り、新潟県出身の会社員大野菜さんと結婚した。田舎娘としては出来すぎた結婚だったが、子宝に恵まれずそれに毎月決った収入しかない淡々とした生活は、生来派手好きで浪費癖のある彼女には我慢できなかった。そして二十三年春、住んでいた月島の近所の家から現金一万円を盗んだが捕って栃木刑務所に服役した。出所した時には夫はすでに彼女の許から離れ、彼女はただ自分の細腕一本に頼る他はなくなっていた。

○…それに彼女は束縛された生活がきらいなのだった。それは勤め先でも主人に信用されると『目的の半ばを達成した喜びの半面、たまらない窮屈を感じた』といっていることでもわかる。そして出所直後の二十五年四月熱海の某旅館に住み込み女中として働いていたが、一ヵ月後にはもう要人を作って飛び出してしまった。彼女はその後一年間、伊東、伊豆などの旅館で同様犯行を重ねては男から男へと移って転々としていった。そして二十七年、上京して新宿の某税務新聞の文化部長と自称する前科十一犯の男と同棲した。同年五月ごろ生活に困った彼女は板橋の知人から現金十万円の詐欺を働き、またその後男が窃盗で東京拘置所に収容されると差入れに行くという殊勝なところもみせたが、たちまち同拘置所の小使Rさんまで肉体のおとりで二万円を巻き上げてしまった。調べに対し彼女は『どうせわたしは男から男へ渡り歩く旅ガラス。いままでに関係した男は数え切れないが七人の男と同棲しました。こん度ももう少しで次の男ができるところを捕って残念でした』と不敵な笑いを浮べている。



アメリカの子供も七五三

○…十五日は七五三の日、都内の神社は朝から可愛く着飾った子供の手を引く家族連れの姿が目立った。快晴に恵まれたので親子の人出は多かったが、子供たちは美しい晴着にきょうばかりはニコニコ顔、今年はやはりモーニングと振袖姿だが、普通の洋服も少くなかった。明治神宮ではアメリカの子供もキモノ姿で七五三の日米交歓といったところ。

○…また世田谷の日赤"孤児の家"でも孤児たちに千歳アメが贈られ、神社に愛くるしい顔でぬかずいていた。

【写真はキモノ姿のアメリカの子供たち=明治神宮で】

米1に砂2を混入
新米サギの百姓兄弟捕る

練馬署では十五日朝までに新米と称し砂利、煉瓦、小石などを俵につめて売りさばき荒稼ぎをしていた埼玉県熊谷市上十条三三八六農業吉野秀吉(39)とその弟吉野三四二(34)を詐欺容疑で検挙、義兄にあたる中山菊次郎(40)を同容疑で指名手配した。調べによると三人は共謀してヤミ米を売っていたが豊作の余波でヤミ値が下り利巾が少くなったところから米俵の芯に砂利、煉瓦などを米一、砂利、煉瓦二の割でつめて、練馬区貫井町五四〇米屋大野安太郎さん(50)に五俵を三万円で売りつけたほか三十数件百二、三十俵を売りさばき約六十万円の荒稼ぎをしていたもの

取込み二千万円

【京都発】京都府警本部捜査二課は十四日朝、西陣織物業者から二千万円に上る取込み詐欺を働いていた前科一犯元繊維物商谷川末吉(50)=京都市北区堀川通北大路上ル=を詐欺容疑で逮捕した。谷川は事業に失敗、約五百万円の穴埋めに六月中旬、取引先の上京区小川通寺之内下ル織物製造業中沢龍之助さん(59)から『東京で西陣織物に注文が殺到している』とだまし、着尺帯、丹後ちりめんなど約数十万円の品物を不渡手形で詐取したのをはじめ、十六軒の西陣業者から同様手段で前後百数回にわたり、合計二千万円に上る織物を詐取、東京都都内十数軒に半値以下で叩き売っていた疑い。

⑤ 冬のプロローグ
火魔の好餌

○…冬来りなば"火事遠からじ"コタツ、ストーブの恋しい冬は火事のシーズン。きのうシーズンの入りを飾る?大火が世田谷の引揚者寮にあった。ここは旧砲兵連隊跡のバラックで消防庁からかねがね危険建物として注意があったもの。昭和女子大の大火の際にも一部が焼けて、住民は『わたしたちの番はいつだろう』と真顔で冗談を飛ばしていた。

○…全く有難くないシーズンの到来だが、紙と材木のマッチ箱住いじゃ、のべつ火種を背負っているようなもので、いくら消防総監どのが『万全の消防陣勢をととのえている』と力んでも、火事は北風とともにやってくる。そして、火事と喧嘩の好きな江戸ッ子が、真夜中にも半鐘の音に耳を澄すシーズンになるのである。

○…事実、この野次馬族は真夜中でも一里、二里も歩いてくる常連がいて、消防の邪魔にはなるが罹災者にとっては、絶好の荷物運搬係。政治家たちが保守合同だの、二大政党だのと舞台裏の"ストーブ・リーグ"に熱中して、住宅建設の公約も忘れてしまうお寒い"政治の空白時代"では、野次馬だけが庶民の自衛力ということになるわけか。


【写真は世田谷下馬の引揚者寮火事の避難民】

人身売買会社の社長ら検挙
特飲店主　女93名売り飛ばす

【横浜発】神奈川県警防犯少年課は十四日横浜市南区永楽町一の八特飲店有限会社『勢州』の代表者渡辺直蔵(54)同社員前科三犯秋山福次郎(49)=千葉県市川市市川三の一七四=の両名を職安法、児童福祉法、勅令九号違反の疑いで書類送検した。調べによると渡辺は二十八年五月大掛りな婦女子売り込みのため秋山を業務担当社員に雇い入れ会社を作り、同年六月青森県弘前市富田新町二〇高川信子さん(20)をだまし横浜市南区真金町二の一三特飲店『みどり』こと肥後政継(42)方に周旋料一万円で世話したほか、九月までに青森、秋田、大阪、福岡、福島、千葉など全国各地から婦女子九十三名を一人一万円から三万円計百三十四万円の周旋料で東京、横浜の特飲街に売り飛ばしていたもの。

米観光団が盗難　熱海
"写真だけでも返して…"と届出

【静岡発】十四日午後七時ごろ世界旅行で来日中の米観光団ミスター・レンボース団長ら二十六名の一行は夕食のため熱海市熱海ホテルに休憩したが、一行は京都出発直前衣類十五点、カメラ六台(五十万円相当)を盗まれたと熱海署に届出た。同観光団では世界各国で撮影した記録写真だけでも発見して欲しいといっている。

初、春場所は従来どおり
相撲協会発表

十五日日本相撲協会では秋場所実施していろいろと話題をまいたナイター場所(打出し午後八時)について明年度から一月の初場所、三月の春場所は従来通り打出しを午後六時、五月の夏場所、九月の秋場所は午後七時(土、日曜、祭日のみ午後六時)打出しのナイター場所とするむね発表した。

賑やかに箱根一泊の旅　第一陣
本社愛読者招待の40名出発



本社の愛読者サービス箱根一泊の旅ご招待第一回当選者二十組四十名は、十五日午前八時東京駅八重洲口から観光バスで出発、一行の中には落語家林家昭蔵さん、柳家小山三さん、漫画家富田英三さんも交り、車窓から好天に恵まれた秋の景色にみとれながら元気で箱根探勝の途につき、今夜は箱根駒ケ岳ホテルで一泊、十六日夕刻東京に帰着する。【写真は東京駅八重洲口を出発する招待旅行第一陣】

ふく穴
『電気ブームと社用族』

◇さきに新聞広告の宣伝関係者が集まって"紙型まつり"なるものを賑やかに行った。読者には紙型といってもピンとこないかも知れないが、新聞を印刷する時の基礎になるのが紙型。この紙型ににえたぎった鉛を注いで鉛版をつくり、これで印刷するのだが毎日シャク熱の鉛を浴びる紙型が可哀そう? だから慰めようというのが"紙型まつり"の趣旨。が、これは年中行事の一つで少しでも新聞広告を一般に認識して貰おうとの狙いもあるらしい。

◇宣伝も新聞広告はマットウだが、街頭でくばるチラシや宣伝マッチにはイカサマが多い。『勤め人には無保証人ですぐ金を貸します=新橋サラリーマン共済会』の宣伝文に釣られ、年の暮をひかえてフトコロの寒いあるサラリーマンが『これはしめた』とばかり早速借金を申込みに行った。ところが先ず会社の名前を聞かれ『××会社だ』というと係員は『それでは貸せない』とケンもホロロの態度。よく聞いてみると、デパートや専門店会のクーポン券を持つ会社でなければ絶対ダメで、結局すぐ借りられるのは会員となっている官庁やごく一部の一流会社だけ。中小会社のサラリーマンは頭から相手にされないことが判った。これなどは宣伝のウラ話の例で、勤め人の心理をホンロウした人騒がせなものだ。

◇いま電気器具関係はズバ抜けて好景気とみえ、この業者に招待された役人の話だが、最初は先ずトリスバーからはじまって、銀座のキャバレー数軒を豪勢に飲み回り、ドンチャン騒ぎをして目が覚めたら高級自家用車に乗って自宅の前まで送られていたという。これで招待した側の社員がナントまだチンピラ社員だったそうで、キャバレー勘定は全部数軒とも会社のツケ『会社の景気も景気だが公給領収証なんて一体どうなっているんだい』とぼやいていた。(黒)

老人夫溺死

十五日午前七時半ごろ東京都新宿区西落合二の五五〇先妙正寺川に老人の溺死体が浮いた。戸塚署で調べたところ所持品から同町二の四六六日雇労務者収容施設聖隣館内文常道さん(65)と判ったが、遺書はなく自殺か過失死か調べている。

共同募金会が見舞金
世田谷の罹災者へ

東京都共同募金会は十五日午後焼け出された世田谷寮の罹災者に十三万七千円の見舞金を贈った。

新宿でアパート焼く

十五日午前二時ごろ新宿区新宿四の六〇建築業関川喜久雄さん所有のアパートの二階から出火、一棟約八十坪を半焼、八世帯が焼け出された。四谷署の調べでは電熱器の不始末かららしい。

小岩で肉屋

十五日午前一時四十分ごろ江戸川区小岩六の四八七肉屋松原芳吉さん方から出火木造二階建住宅一棟十五坪を半焼した。小岩署で原因調査中。

三河島で一棟

十五日午前六時三十五分ごろ東京都荒川区三河島一の二七二八袋物製造業金沢謙昌さん(45)方から出火、同家木造一部モルタル二階建一むね十四坪を半焼して同七時ごろ鎮火した。荒川署の調べでは石油コンロの不始末から。

山本捕手(浪華商高)東映へ

夏の甲子園大会に活躍選抜チームの一員としてハワイ遠征に参加した浪華商高の山本八郎捕手(18)は十五日午前十時半東映本社で大川社長との間に契約を完了した。

大宮競輪初日成績

◇第一B(千五百)❶佐藤光2分11秒6❷檜垣忠❸矢野十(単)特70円(複)130円230円(連)❹―❸3660円
◇第二B(千五百)❶小島完2分3秒9❷長谷川❸森清(単)特70円(複)140円110円120円(連)❶―❻1080円
◇第三B(千五百)❶稲垣愍2分11秒3❷田中松❸近藤泰(単)150円(複)100円130円130円(連)❻―❹490円

あすのスポーツ

△野球 東都大学 駒沢対芝工大、国学院対教(十一時半、神宮)△庭球全日本選手権(九時、田園)△バスケット関学リーグ一、二部早対中=決勝戦(六時、国民体育館)△ボクシング ダイナミック・グローブ第三十五戦(六時半、下谷)△競馬大井

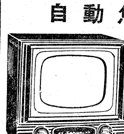
鋳谷正輔氏

(元川崎重工社長)十五日午前零時四十七分神戸市生田区山本通り四の九七の自宅で糖尿病のため死去、七十六才。山口県出身。(神戸発)

独眼灯

○…一千万円持逃げ犯人埼玉銀行大宮支店出納主任鈴木喜清(35)=埼玉県大里郡川本村=を調べている大宮署では鈴木が残る八百万円を畑に埋めたというので十五日朝から鈴木の自宅付近麦畑などの警察犬を使ったり地元消防団を応援を得てここほれワンワンとばかり発掘したが、午前十一時現在まだ発見されていない。

○…当の鈴木は畑に埋めたと自信しているが『正確にここだと記供していない』とおとぼけ的なもののいいかた。なお六日午前八時ごろ同村某(48)は鈴木が自転車の荷かけに何か積んで走っていたのをみたといっている。



続 情炎の千代田城

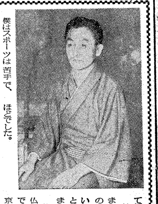
岩崎栄　寺本忠雄画　(300)

伊豆の春(二)

[illegible]……ど……』
[illegible]あん、気はたしかかい』
[illegible]郎がのぞき込む。
[illegible]ほらってるんだよ』
[illegible]はツンとしてそっぽを向
[illegible]たけが首を振って、
[illegible]え、や、こいつあ、なかなか
[illegible]、きのうやきょう駈け出
[illegible]師じゃあねえよ』
[illegible]はもんでえ』
[illegible]う返ったのが、すぐまた真
[illegible]うのうと湯にぽかりつか
[illegible]ま、めえ日めえ日無駄酒ば
[illegible]んでたって、これじゃあお
[illegible]がたきの在りかはわかりっ
[illegible]千年、万年、待ったとて
[illegible]チン、ツン……』
[illegible]またはじまったぜ』
[illegible]郎が、
[illegible]らどうしようっていうんだ
[illegible]つあん』
[illegible]だからおめえハカリ
[illegible]よ。芸人に化けてよ、伊豆
[illegible]村々をよ、片っぱしからシ
[illegible]したよっ、叱っ』
[illegible]が手を振ったとき、どたば
[illegible]の足音が重なり合って、
[illegible]、お客さんごめんなすっ
[illegible]あるじらしい。



趣味のこと　尾上菊蔵



僕はスポーツは苦手で、そのほかのことなら相当いろいろな趣味を持っています。

父の多賀之丞が篆刻(テンコク)などをやっている影響でしょうか、僕は版画に趣味を持っています。創作版画をやっているのです。創作版画といっても、創作版画と古典版画の中間のようなものです。これにはずいぶん凝りました。名古屋で本職の刷師(スリシ)に本格的に習ったほどでした。

しかし、ご承知のような商売柄で、なかなか時間がないので創作にふけるというわけには参りません。従って絵も父をお師匠番にして習っていますが、これはまだ図画ていどです。絵を観るのが大好きで展覧会にはよく行きます。殊にルネッサンス以後の印象派風の作品が、一番よく判って好きです。

こんど、お小遣いが少したまったので、カメラを一級上のに取りかえたので、せいぜい芸術写真を撮ってみようと、カメラ雑誌などを見ています。

旅行すればその土地の神社仏閣へお参りするのが好きで、和辻哲郎博士もどきに、京都や奈良へ行けば、古寺巡礼を唯一の楽しみにしています。俳句も嗜り真似に時々やります。これは亡くなった中村七三郎さんにほめて戴いたものです。

鎌倉は蓮も枯れしと便りきく　菊蔵

【写真は楽屋の菊蔵】

歌舞伎漫語

未婚 第一線スター 結婚

去る十一日島崎雪子が日活の神代助監督と華やかにウェディングマーチをかなでたが、続いて十八日には大映の伏見和子がかねて婚約中だった大昭和製紙社長の三男、斎藤喜久蔵氏と東京会館で結婚式を挙げる。またこの二十一日には鶴田浩二もいよいよ挙式ということになっている。この辺で今年の映画※界結婚ブームもまずは〝中入り〟ということになりそうだが、ザッと見渡してもまだまだ第一線スターのなかには結婚適令期の花嫁候補がワンサといる。そこで最近結婚したスターと、これからするであろうスターの話題の一コマを拾ってみる。

巾を利かす30娘

結婚ブームも大体一段落?

女房組はほとんど20代



沢村美智子
木村三津子
木匠マユリ
伏見　和子



原　節子
京　マチ子
越路　吹雪
角　梨枝子
岸　旗江
淡路　恵子

歌舞伎の名女形沢村宗十郎の娘という毛なみのよさから、ひと頃は大映の看板スターだった沢村美智子が日平産業の社長宮嶋鎮治氏と結婚したのは昨年の秋のことだが、早いところ今年の四月には玉のような男の子が生れた。ところでこの沢村一家は元来、方角とか名前には大変こだわる家庭なのである。たとえば事務所を一軒借りるにしても運命判断によって、東西南北、ああでもない、こうでもないと〝ゲンケンゴウゴウ〟やるわけだ。従ってこんどの坊やもあちらこちらで姓名判断をやってはいちいち名前をつけた。ところがこういった判断というのは易学の先生が違うたびに名前も変るといった案配で、ついに七ヵ月の間に四回も改名したそうだ。その結果いまでも近所でははっきりした坊やの名前を知らないという話もある。こうなると坊やこそいい迷惑だが、ともかく彼女はこれできれいさっぱり映画界から足を洗ってしまったわけだ。

このように結婚を機会に引退したスターは彼女のほかにも木村三津子、西条鮎子がいるし、この夏米軍中尉と結婚した木匠マユリも、近く夫君が帰米する時には一緒に行くそうだから、これも遠からず映画界から姿を消すことになるだろう。

ところでここに面白いのは、映画界で既婚女優の年令が若く、未婚スターに三十娘が多く目立つことである。既婚組では鰐敏郎と結婚した桂木洋子が昭和五年生れの二十五才、戦後スターになった若手でも荒川さつき二十八才、三条美紀、野上千鶴子、それに十八日に結婚する伏見が二十七才、若山セツ子二十六才で今年の西条、木匠は二十五才、島崎二十四才、沢村などは二十三才という若さだった。つまり三十の坂を越えた戦後派の女房スターは折原啓子、月丘千秋、中北千枝子、浜田百合子など僅かに四、五名を数えるだけだ。戦前からの大スターが、結婚しても相変らず大スターの座を落ちないのとくらべると、一歩後退している彼女らはそれだけに底が浅かった人気ともいえるわけだ。

その反対に独身スターには三十娘が多く、原節子の三十六才を筆頭に花柳小菊三十五才、月丘夢路、久慈あさみ三十四才、井川邦子、日高澄子が三十三才で、三十二才組には淡島千景、京マチ子、乙羽信子、越路吹雪、幾野道子などがズラリとそろっているし、その線スレスレに津島恵子、宮城野由美子から、すぐ下には星美智子、杉葉子、角梨枝子などがいずれも独身スター然としてひかえている。もっともこのなかには花柳、月丘、幾野のように一度結婚に失敗したカムバック娘もいれば、角、宮城野などのように実質上はそれとちっとも変らぬような恋人を持っていたものもいる。ただし角の場合はあれほどアツアツだった若原雅夫と別れ、いまでは文字通り独身スターになっている。こうしたスターはなぜ結婚できないか、高峰秀子の結婚で同じ年代だけに一番ショックを感じたという越路吹雪は『それはアタシだってさ、結婚したいわよ。でもこうなってみると、なかなかふんぎりがつかないんだ。とにかく一人でいると暢気でいいし、何かとむずかしいのよ』といっている。つまり何となくふんぎりがつかぬうちに、うかうかと三十になったという口が多いようである。

ハリウッドの悲劇物語　その三

〝つきまとわれた死の影〟

飛行機墜落で死んだキャロル・ロムバート



セルマ・トッド
キャロル・ロムバート
クラーク・ゲーブル

自殺か他殺か、結局は不明のままに自分の自動車の中で窒息死していたのはセルマ・トッドである。マルクス兄弟と共に彼女も名コメディエンヌをうたわれ、当時としては最高給の週給三千ドルをとっていたのだが、監督ローランド・ウェストと共同経営のレストランの裏庭で一九三五年十二月、遺書もなく死んでいた。いまだにその原因は不明で、ハリウッドの歴史に暗いかげを落している悲劇女優の一人である。

ジェームズ・ディーンのような自動車事故ではなかったが、奇禍にあって将来有望の生命を奪われたケースもある。現存すればメニューヒン級の天才ヴァイオリニストで、映画スターとしてもようやく名をあげ始めていたラス・コランボがその人。友人の持っていたピストルの暴発で一命を落してしまった。またクラーク・ゲーブルの三番目の夫人だったキャロル・ロムバートもその一人。列車事故で撮影に間に合わぬのを心配して飛行機を利用したところが、これがまた事故を起し、ラス・ヴェガス南方三五キロの地点に墜落、一九四二年あたら若い生命を散らしてしまった。

彼らの悲劇は個人にまつわるものだが、ハリウッドは彼らより早くこの町全体としての悲劇的運命にさらされていたことがある。もちろん個人的スキャンダルがハリウッドの名誉をきずつけ、全国的にハリウッド映画のボイコット運動がおこったのだ。一九二〇年ごろのことである。立てつづけに起った事件というのは――。

一九二〇年のハンサム男優ウォーレス・リードの死はモルヒネの常用による精神錯乱からだった。一九二一年デブッチョの名で愛きょうのあったロスコー・アーバックルは、モルヒネ切れの発作から、ある女優に暴行して彼女を殺してしまった。一九二三年監督ウィリアム・デーラーを射殺したとして警察に上げられた女優メーベル・ノーマンドは、やがて証拠不十分で釈放になったが、取調べ中に彼女が毎月二千ドルをモルヒネの密売団に払っていることがわかった。

こうした次々のスキャンダルのあれやこれやで、ハリウッドの運命は風前のともしびともいわれていたとき、ハリウッドの製作者たちは、当時の大統領のふところ刀で閣僚の一人、またメソディスト教会の長老でもあるウィル・ヘイスを映画製作配給協会の会長に推たいして、ハリウッド・ボイコットの悲運を立てなおしたものである。現在のプロダクション・コードもヘイスの作ったものだった。現在のハリウッドはこのような悲劇の果ての姿なのである。(Z)=完=

新人山脈

沢庸子(シャンソン)



KRの土曜日正午からの番組『いこいの調べ』で歌っているほか、ときおり、シャンソン喫茶、東銀座七丁目のGでも、原孝太郎六重奏団の伴奏で出演している。まだ始めて一年くらいしかならない。

芦原英了氏に自分で録音したテープを聞いてもらって励まされたことが、首を突っ込む直接の動機となった。並みの女性より一オクターヴも低い男みたいな地声が特徴。旧制の東京女子大国文科を出ている。『鎌倉文庫』の編集部にいたりにんじんくらぶの事務をやったりした。いまはグレコ(パリの人気歌手)に酔っている。声が似ているのも嬉しいところ。戦前派戦後派の何れにも組しえず、何ごとにも用心深く無感動で、〝コミット〟(身を投じる)する対象を持たなかった彼女だが、模倣にもそれなりの喜びが感じられることを、初めて発見したのがこの世界らしい。かといって『このひとすじを…』ほどではなく、せいぜい〝賭はなされた〟という程度。そういうけだるさが一種の持味だが、それだけでノシて行ければ、シャンソンとはまことに結構な芸術。持味はそれとしても、底に激しいものが流れ出さねば、所詮は〝お嬢さん芸〟に終る。戒むべし。本名井沢庸子。住所=目黒区上目黒五の二三五三。

エト邦枝、フリーに

昨年九月、マーキュリーからテイチクに入社したエト邦枝は、十月末でテイチクとの専属契約が満了再契約を行わずフリーに転向した。エト邦枝はタイヘイ(現在のマーキュリー)設立と同時に入社『港出て行く白い船』『夜のルンバ』『ドリヤンは恋の味』など歌い、ついでテイチクに移り、ここ一年間に十曲余を吹込んでいる。

『オテナの塔』に雪村いづみ出演

東宝、宝塚映画共同作品『オテナの塔』(監督安田公義)は出演者に中村扇雀、嵐寛寿郎、山田真二、青山京子のほか雪村いづみが決った。

狙いは面白いが上滑りの実験劇

『笑はない青春の記』=同人会=

新劇あらさがし

▽…俳優座スタジオ劇団連続公演四番目戦争孤児収容施設の一つに働く若い指導員である西村滋氏が、かつて自ら補導し、いまは実社会に出ている孤児たちの行方を訪ね歩いたルポルタージュを、村田修子が三幕に脚色したもの。演出田中千禾夫、装置北川勇。

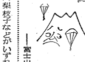
▽…自らも孤児として放浪の過去を持つ指導員西村(阿部希郎)は真先に訪ねたダンサーのヒモ(矢田稔)から『昔の映画〝舞踏会の手帖〟みたいなおセンチさ』だと嘲られながら、それでも靴磨き、菓子職人、パンパン、ストリッパー、ストリップ劇場の用心棒、人妻、サンドイッチマン、施療患者などを次々に訪ねて、慰めたり、励ましたりする。それを二階作りの丸太組回り舞台のここかしこに、社会のさまざまな断面を展開してみせる。

▽…ところが、何分にもセカセカと書き殴られたコマ切れのスケッチを、パラパラめくってみただけという程度のあわただしさなので表面は特異な世界の描写を通じ、普遍的な問題として観客の心に食い込んでくるところまでは行かない。社会の暗い面をいろいろに見せた新劇バラエティといったところか。ねらいは面白いのだが、上滑りの実験劇に終った感じ。二十日まで俳優座劇場。(留)



【写真はその第三幕の舞台面】

おしゃべり棒



自衛隊秋季演習
恥かしくてもう観光宣伝はできないよ。
――富士山

今晩のラジオ 15日(火)

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 子供のシンブン◇ちえのポスト 三鈴恵以子他 / 25 オテナの塔 須永宏他	05 英語会話 松本亨 / 30 受信機講座 市原嘉男 / 40 やさしい科学 高島春雄	10 東西こぼれ話 高野アナ / 15 コンサート 南十字星 / 25 クイズ・パトロール	00 劇『少年宮本武蔵』 / 10 劇『平将門』高橋昌也他 / 25 LPヒツトパレード	00 ポツポちゃん物語 / 15 漫才 内海桂子・好江 / 30 歌野沢一馬 恵ミチ子他
7	00 ニュース◇天気予報 / 15 録音ニュース / 30 話の泉 渡辺紳一郎他	00 名曲鑑賞 バツハ作曲二つのヴアイオリン協奏曲 / 30 明日の農民 二宮融	10 録音ニュース / 20 歌うオルガン 松沢宏 / 30 落語『居残り佐平次』円生	00 録音ニュース / 10 君の歌僕の歌 雪村他 / 30 漫才クイズ(弥次喜多)	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) / 20 花のステージ歌鎌田正夫 / 30 歌謡クイズ 久保田勝
8	00 青空の仲間≪あわれ秋風の巻≫榎本健一他 / 30 民謡をたずねて 赤坂小梅 喜久丸	00 ニュース / 05『領土問題と植民地問題』飯塚浩二 中屋健一 入江啓四郎 西野照太郎	00 剣に生きる人々『五郎正宗』東野英治郎他 / 30 歌の風車 奈良光枝 伴久美子 岡本敦郎他	00 家庭音楽会 司会浅倉アナ 三味線豊吉他 / 30 連続講談『徳川家康』第七十七回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 水ノ江滝子 柳家金語楼他 / 30 バラエテイ『水戸黄門漫遊記』内海突破他
9	00 ニュース解説 平沢和重 / 15 若い季節 中井啓輔 姫ゆり子 菅谷政子他 / 40 時の動き	00 音楽のおくりもの ウエルテル第三幕ヴエルディ作曲 タリアビーニ タツシナーリ 大谷冽子	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ / 40 劇『ホガラカさん』野添ひとみ 轟夕起子他	00 歌うバースデイプレゼント ゲスト雪村いづみ / 30 落語❶ラブレター 柳亭痴楽❷道灌 三遊亭金馬	00 歌のカクテル・パーテイ 柳沢真一 旭輝子 / 30 火曜劇場『吉野仏』香川京子 清水将夫他
10	15 虹のしらべ 池田光夫とオルケスタテピカNHK / 40 スター訪問 京マチ子	00 高等学校講座❶国語 鳥山榛名❷解析 山崎三郎 / 45 気象通報	05 今日のニュース(毎日) / 15 劇『人情馬鹿物語』 / 30 交響曲第6番『田園』	00 大学受験実力養成講座 和文英訳 JB・ハリス / 30 解析(Ⅱ)田島一郎	00 劇『南無三宝』 / 15 歌若山彰 中村メイコ / 35 わたしの選曲
11	10 海外の話題 / 20 星月夜 前田晁作	05 経済の時間◇ニュース / 20 医学の時間 操坦道	10 劇『何処に薔薇の花は咲く』芥川比呂志他	00 秋の夜話≪三人冗語≫ / 30 リクエスト 欧洲の調べ	00 スポーツ・カレンダー / 15 三味線の手ほどき

テレビ ★NHK★ ◆6・00 河村光陽童謡集◆6・30 日本の中のアメリカ◆7・03 舞台中継『横堀月夜』(京都南座)◆8・10 舞台中継『日本橋』(明治座)◆9・15 新党発足と今後の政局

★NTV★ ◆6・00 海のサブー◆6・20『ヒマラヤの山羊』◆6・30 映画『続・警察日記』◆7・30 劇『ああ無情』◆8・00 名人会 南遊 円歌他(東宝演芸場から)

★KR★ ◆6・00 朝日TVニュース◆6・15 まんが◆6・35 サザエさん◆7・00 お笑いゲーム◆7・30 プロレスリング・アジア選手権試合実況◆9・30 東宝スクリーントピツクス

名歌 都々逸　石井きんざ選

あなたに抱かれてこのまま今夜　泊って行きたい酔い心地　浦和・尾迫通人

月が知ってるきれいな身体　それがわびしい帰り道　目黒・望月かな女

昨夜の寝言がまだ気になって　糊襷持つ手がふと鈍る　文京・木村いつ秋

秋の夜長の嬉しさだけが　二人へしみじみわかる旅　船橋・今井ちさと

障子一重に寝ている姑　今夜も起きてるせきばらい　長岡・かつらぎ縁

◇

添えなきゃこの儘この波の中　命を捨てゝも惜しくない　選者

さてそこでこのなかには来春早々にも結婚するというスターは見当らないが、若手にはこの候補がいるから世の中は皮肉なものだ。元東宝で現在独立プロに所属する岸旗江も近く某助監督と結婚するというし、例の比国人歌手、ビンボウ・ディナウとおよそ派手な恋愛で話題になった淡路恵子も来年こそはビンボウの家庭、つまりフィリピンにいる妻や子供を離籍し正式に結婚したいといっている。ところが来年は『申年』だ。サルは去るに通ずるとかいって岸も淡路も今年中にできたら式をあげたいのが希望だという。やはり結婚とか、子供の命名とかになれば運勢にたよるのも、かえって映画界らしいお話かもしれない。

はと笛

▽…猿之助の北京公演をねぎらう日中友交協会主催の歓迎会が十二日神田で催された。席上、同行した評論家の浜村米蔵氏が『北京の劇場で花道を作ってくれたのはいいが、なんと十六間もあり、おまけにカギの手になっていた。そこを弁慶の猿之助が六法を踏む姿は見ものだった』と感嘆。

▽…花道といえば歌舞伎座でもせいぜい十間ぐらいなのに、と聞きいる一同もその熱演ぶりに改めてびっくり。こんどから弁慶はぜひ〝十六間六法〟でやって貰わにゃとガヤガヤやれば猿之助、でっかい目をむいて〝東は東〟ですとニヤリ。



【写真は市川猿之助】

蝶々夫人と語り合える　横浜のサービス喫茶・白馬車

ハマは昔から異国情緒豊かな街だった。港ヨコハマに多くの外国郵船が停船して、異人さんが街を遊ぶ、そんな印象が誰の胸にも残っていよう。

そんなハマの印象は、敗戦と共に一時消えたが、近ごろ、別な異国情緒で復活しつつある。例えば伊勢佐木町の吉田橋入口いせビル階上の『白馬車』だ。サービス喫茶としても変っているが、何といっても、失われた江戸情緒があるという点、外人のみか日本人にもとんだ異国情緒で愉しませている。というのは女性が全て和服姿でサービスするからなのだが、その衣裳が奇抜な思いつきなのだ。お蝶夫人や唐人お吉などと共に語ったり踊ったり出来るのだからうれしくなる。

悩ましきバー　新宿歌舞伎町・ミロ

美人の種類にもいろいろある。原節子型の高貴もあれば、高峰秀子型のチャーミングなのもある。或いは山本富士子の純日本型、淡路恵子のエキゾチック型と数えれば多種多様だが、一人一人、こんな特徴のある美人ばかりを集めたバーとして、世の鼻下長氏の鼻を[illegible]

いやが上にも引き伸したバーが新宿にある。歌舞伎町都電終点通りのバー『ミロ』がそれだ。女性は全部で十数人しかいないが、どれをみても必ず一流スターの誰かに似ているというから愉しい。ちょっと近くに呼んで、ビールなどさしつ差されつ、微クンを帯びてくればそれこそテコちゃんと一緒に飲んだり、山本富士子の色っぽい微笑に接している気分になったりするだろう。不思議に男心をトロカス魅力がある店だ。のんべえなら一度は訪ねておかなければ恥をかく。場所は大和銀行から仲見世通りの方へ回った所だ。

東京のコージーコーナー　浅草メトロ通り・バー・シロ

浅草メトロ通りのちょっと奥まった所に、西欧はチロルの城砦を思わせるような、古風でシックなバーがある。壁にポッカリ、穴をあけたように『バー・シロ』と書いてある以外は、ほとんど何の看板もない。内部に入るとほの暗く柔かい照明が、奥の方のスタンドをほのぼの照し出し、スカッチを始めとして各国の洋酒がズラリと並んでいるのが眼につく。

静かに奏でられる音楽はポピュラーなものに統一され、クラシック、シャンソンとこれも多彩。高い所に一輪、バラの花が高い香りを放って咲いているのも印象的だ。[illegible]

一口にいえば[illegible]京に花開い[illegible]コーナー[illegible]よう。[illegible]

フランス風の喫茶店・ダミア

日本人は元来がフランス好み。ましてこの頃アメリカにいささか食傷気味ともなれば、シックなおシャレはフランス調と決ったようなものだ。街を歩いても、車に乗っても、喫茶店やバーは挙ってフランス風を謳っているといった一辺倒ぶり。今度はフランスに食傷する番かと思ってみると、それは殆んど言葉のアヤ宣伝文句に過ぎなくて、中味はパリは愚かアメリカにもありそうもないチャチな店が多い。

こんな中で、真にフランス調、パリ好みといって恥じないのは新宿東宝裏、末広亭筋向いの喫茶店『ダミア』であろう。いつも三階のギャラリーで、有名画家の個展を開いているから、絵画ファンにはおなじみの店かも知れないが、音楽はシャンソンだけ集めてある。恐らく東京でパリ吹込みのシャンソン曲をこれほど豊富に聞ける店も少ないだろう。ガス灯を思わせる照明、立派なボックス、そしてロマンチックなふん囲気は彼女との憩いの場所としてうってつけのものだ。高橋貞二や三船敏郎などもよくここで休んでいる。

繁昌する店舗とは?

盛り場の歩道を何気なく歩いていても、パッと人眼を惹く店とサッパリ印象に残らない店とあるのに気がつくだろう。これでもかこれでもかと宣伝にもこれつとめ店[illegible]

美人が貴方を待っている　小伝馬町美人喫茶『プリンス日本橋店』

喫茶店の開店など耳にタコで、ちっともめずらしがらない人が多くなったが、男性ならきっとニコニコする店が今日オープンする。名付けて『美人喫茶プリンス日本橋店』都電小伝馬町下車、馬喰町に向って二本目の通りを左に曲って右側、というとちょっとややこしいが、あの辺で『プリンス』と聞けば誰でも教えてくれる。『プリンス』と云えば素敵な美人と、ファッションショウ、最高の銀座的雰囲気を誇る銀座五丁目の並木通りの『プリンス』が有名だがこの日本橋店はこの支店。あえて『美人喫茶』を名のるも当然か。がオープンしてみて、あらためてびっくりする程、十人程の女の子が、どれも素敵に洗練された美人ばかり。ちょっとウインクしてもこちらの胸がドキドキする位のシャン揃いだ。店は近代建築の粋を[illegible]

